

新たな専門医制度の仕組み

専門医とは

(基本的な考え方)

1. 新たな専門医の仕組みを、国民の視点に立った上で、育成される側のキャリア形成支援の視点も重視して構築する。
2. 専門医を「それぞれの診療領域における適切な教育を受けて十分な知識・経験を持ち、患者から信頼される標準的な医療を提供できる医師」と定義する。
※「神の手を持つ医師」や「スーパードクター」を意味するものではない。
3. 新たな専門医の仕組みは、**プロフェッショナルオートノミー(専門家による自律性)**を基盤として設計される。

1

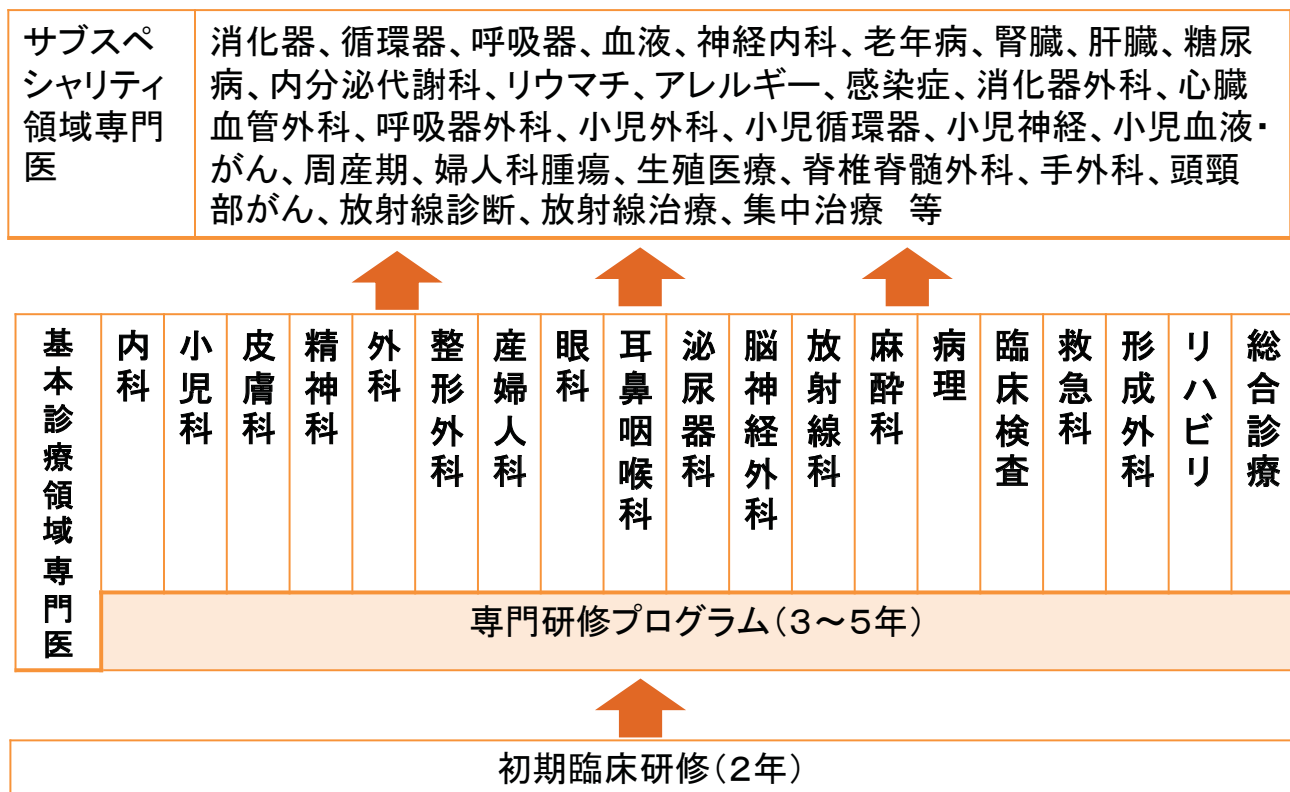
専門医制度改革の骨子

1. 専門医の医師像を国民にわかりやすく明確にする。
 - 患者の視点に立ち、信頼される医師の質を保証する。
 - 基本診療領域専門医の取得後に、サブスペシャリティ領域専門医を取得する2段階制とする。
2. 学会認定の専門医から中立的第三者機関(一般社団法人日本専門医機構。以下「専門医機構」という。)認定の専門医へ
3. 診療に従事しようとする医師は、19基本診療領域のいずれか1つの専門医資格を取得する。(2015年春の卒業生から)
4. 共通で標準化され、専門医機構が認定した専門研修プログラムにより研修施設群の中で所定期間の修練を必須とする。
5. 専門医資格は、試験だけでなく、診療実績が重視され、専門医機構によって認定・更新される。
6. 総合診療専門医を基本診療領域に位置付ける。

1

2

基本診療領域とサブスペシャリティ領域の専門医



3

総合診療専門医の医師像

日常遭遇する疾患や傷害の治療・予防、保健・福祉など幅広い問題について適切な初期対応と必要に応じた継続医療を全人的に提供でき、地域のニーズに対応できる“地域を診る医師”

- 従来の領域別専門医が「深さ」が特徴であるのに対し、「扱う問題の広さと多様性」が特徴である。
- 他の領域別専門医や多職種と連携して、地域の医療、介護、保健等の様々な分野においてリーダーシップを発揮しつつ、多様な医療サービス(在宅医療、緩和ケア、高齢者ケア等)を包括的かつ柔軟に提供する。
- 地域における予防医療・健康増進活動等を行うことにより、地域全体の健康向上に貢献する重要な役割を担う。

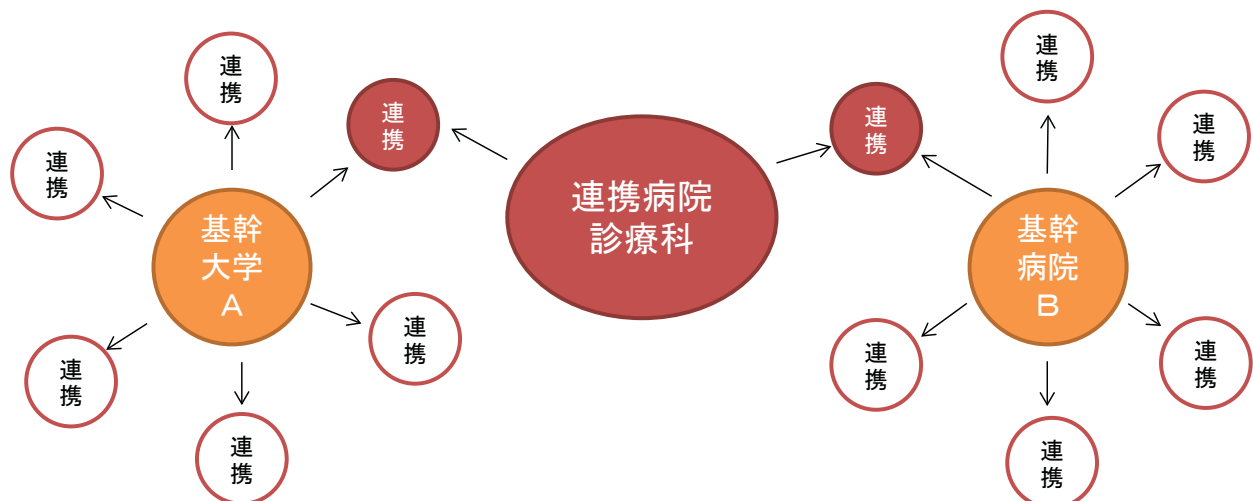
専門研修プログラム制とは

1. 各基本診療領域の専門研修カリキュラムのもとで、目標を計画的に達成するために、**専門研修基幹施設**が中核となり、複数の**専門研修連携施設**と共に**専門研修施設群**を形成する。
2. 専門研修施設群は、**専門研修プログラム**を作成し、それに基づいて専攻医の専門医資格取得までの全過程を人的及び物的に支援する仕組みが「**専門研修プログラム制**」である。
3. 専門研修プログラムは、専門医機構の「**専門研修プログラム研修施設評価・認定部門研修委員会**」で審査され、基準に則って認定を受ける。

5

専門研修プログラムでの施設群形成(例)

内科領域などでは複数の専門研修基幹施設の連携施設になることがある。必要な症例数や指導医数は按分される。



3

6